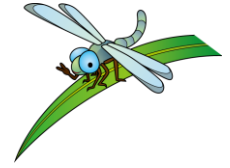


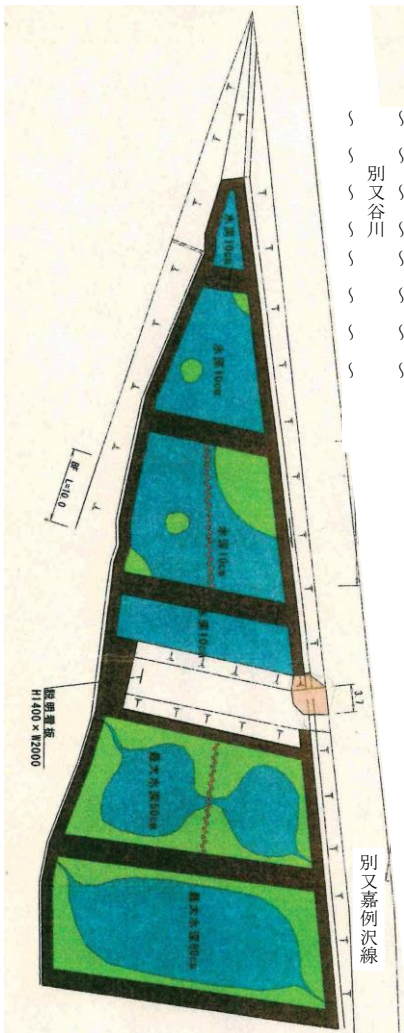
「別又水源涵養田・自然観察池での自然観察会」

池の中の生き物や周囲の植物を調査・観察します。
うおづの豊かな自然を体感しましょう！



◇◇◇本日の日程◇◇◇

- 9:00 片貝山ノ守キャンプ場 集合
別又水源涵養田・自然観察池へ移動 日程、注意事項等
- 9:20 池の中やまわりの生き物の調査・観察 (解説 魚津水族館：不破光大さん)
- 10:30 植物の調査・観察 (解説 魚津埋没林博物館：石須秀知さん)
- 11:00 片貝山ノ守キャンプ場へ移動
- 11:15 野草ピザ作り体験など (指導 片貝三ヶ村ふきんちょクラブ 代表:山本和子)
- 12:30 アンケート記入後、解散



～ ちょうさ かんさつ 調査・観察きろく ～



◇◇◇ 注意事項 ◇◇◇

- ・体調不良など、何かありましたらスタッフへ声をかけてください。水分は各自しっかり取りましょう。
- ・日程は、天候や現地の状況等により変更する場合があります。荷物は各自で管理してください。
- ・池のまわりでは、足元に注意しましょう。
- ・トゲのある植物、ハチやマムシなど危険な生物には近づかないよう十分注意しましょう。
- ・ごみは捨てずに持ち帰りましょう。

<片貝三ヶ村ふきんちょクラブ>

片貝三ヶ村ふきんちょクラブは、魚津市の片貝三ヶ村（黒谷、山女、東蔵、平沢）の女性有志が主体となったグループで平成24年4月に結成されました。

“ふきんちょ”とは、地域の言葉で“ふきのとう”を指す幼稚語です。グループでは、三ヶ村に伝わる伝統の漬物を核に、片貝の自然、手仕事、祭り、芸術など山里の暮らしを後世に伝え、地域の継続と発展を願って活動を行っています。

～ メモ欄 ～

<観察池の看板>

ここは魚津市片貝川別又谷の 涵養田・自然観察池 です

自然観察池のねらい

水の中や水辺は、さまざまな生き物が生活する場所です。ここでは、休耕田に水を張って生き物がすむ場所を作り、どのような動物や植物が姿を見せるかを継続して観察しています。

なるべく自然の変化にまかせ、他の場所で捕まえた生き物などを入れたりしないようにしています。

(外来生物の除去や、ヨシやガマなどの大型植物の適度な間引き管理を行います。)

水生動物 (両生類・昆虫など)

この水場には、水・陸・空を介して、様々な水生生物が移動してきます。繁殖地や餌場として季節的に利用したり、生涯を過ごす生物もいます。

トノサマガエル	ヤマアカガエル	モリアオガエル
クロサンショウウオ	アカハライモリ	
シマヘビ	ミズカマキリ	
クワイトトンボ	キイトトンボ	
ハラビロトンボ	ミヤマアカネ	クロスジゲンヤンマ

水中・水辺・湿地の植物

池では水中や沼地に特徴の植物が見られます。動かないように見える植物も、タネなどが水の流れて運ばれたり、風で飛ばされたり、動物に運ばれたりして池にやってきます。

イヌタヌキモ	ク ロ モ	フトヒルムシロ
	ヒ シ	ミズニラ
	ショウブ	ミズバショウ
	ニッポンイヌノヒゲ	ノハナショウブ
ガ マ	ミソハギ	ミソソバ

この池に
来てほしい
生き物たち

※池からすべて生き物が見られるわけではありません。

おねがい

この池では、次のことを守りましょう。

- ・生き物をとったり傷つけたりしない。(管理に必要な場合を除きます)
- ・持ち込んだ生き物を放したり植物を植えたりしない。
- ・観察するときは足場を利用し、水の中に入らない。

涵養田とは…

魚津市の平野部は、片貝川などからくる豊富な地下水に恵まれ、市の上水道や産業に利用されています。片貝川流域では、休耕田に水を張ることで地下水を補給し、豊かな地下水を守る取り組みがおこなわれています。